



国土交通省 千曲川河川事務所

Chikumagawa River Office
Hokuriku Regional Development Bureau
Ministry of Land
Infrastructure, Transport and Tourism

記者発表資料
平成24年 1月31日

情報化施工工事報告会を開催 ～新技術の普及・拡大に向けて～

関東地方整備局長野国道事務所並びに北陸地方整備局千曲川河川事務所、松本砂防事務所、大町ダム管理所では長野県内における情報化施工の普及・拡大を図るため、10月5日に開催した「[情報化施工要領説明会](#)」、11月25日に実施した「[現場見学会](#)」に引き続き、土木技術者を対象に下記のとおり工事報告会を開催します。

1. 開催日時：平成24年 2月 3日（金）13:00～15:00
2. 開催場所：長野市鶴賀字中堰145 長野国道事務所 第一・第二会議室
3. 内 容：（1）トータルステーションによる出来形管理
（2）建設機械のマシンコントロール・マシンガイダンス
（3）トータルステーションによる締固め管理
4. 対象工事：H21 柏原地区交通安全対策工事
北長池改良工事
岩井築堤外工事
笠倉築堤護岸工事

情報化施工とは、建設事業における調査、設計、施工、監督・検査、維持管理という建設生産プロセスのうち「施工」に注目して、情報通信技術の活用により各プロセスから得られる電子情報を活用して高効率・高精度な施工を実現します。さらに施工で得られる電子情報を他のプロセスに活用することによって、建設生産プロセス全体における生産性の向上や品質の確保を図ることを目的にしたものです。

国土交通省では、情報化施工技術の一般化・実用化の推進を図っています。

【配布先】

- ・長野市政記者クラブ
- ・長野県庁会見場
- ・新建新聞社
- ・長野経済新聞社
- ・日本工業経済新聞社 長野支局

【お問い合わせ先】

国土交通省北陸地方整備局
千曲川河川事務所 026(227)7611
副 所 長 柴澤 一嘉
品質確保課長 中川 毅志



国土交通省

千曲川河川事務所

検索

クリック

<http://www.hrr.mlit.go.jp/chikuma/>

● 報告会会場へのアクセスマップ



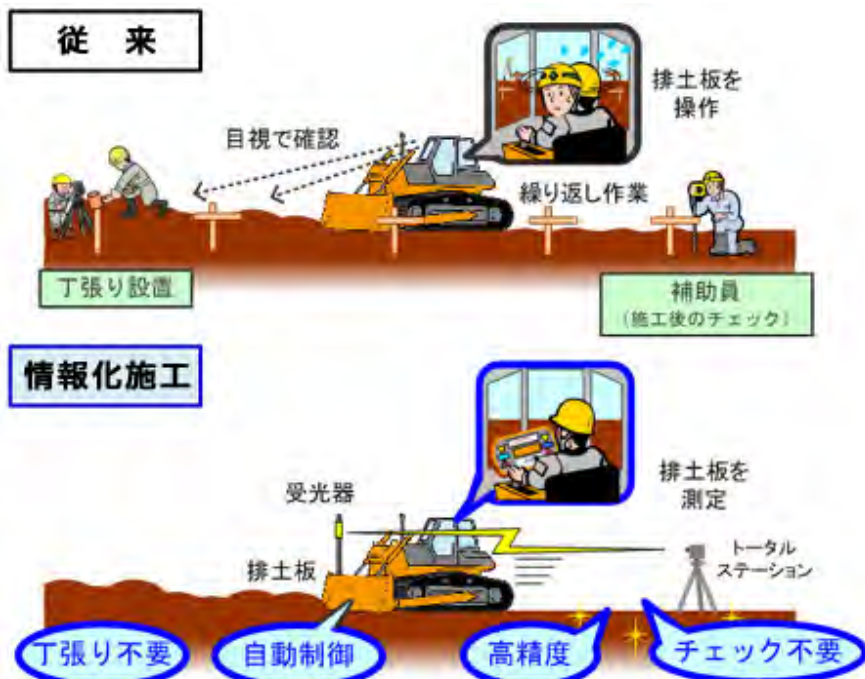
< 拡大図 >



● 当日の施工技術

情報化施工のイメージ

現在、建設現場では汎地球測位航法衛星システム(GNSS)やトータルステーション(TS)などの高度な測位システムの導入が進み、測量や検査に使用されています。このような情報通信技術(ICT)と電子化された施工図などのデータを活用することによって、施工現場では測量などの計測作業の合理化、建設機械の自動制御やナビゲーションによる品質、精度の向上、丁張なしでの施工による施工効率の向上が期待できます。また、出来形管理においても施工中のデータを電子的に記録できることから、任意点での計測が容易となり、施工者の品質管理・帳票作成作業、発注者の監督・検査業務においても、効率化できることとなります。



次 第

1. 主催者挨拶 長野国道事務所長

2. 工事報告
 - (1)[長野国道 H21 柏原地区交通安全対策工事] (舗装工事)
 - ・TS出来形
 - 岩澤建設(株)

 - (2)[長野国道 北長池改良工事] (道路盛土工事)
 - ・TS出来形
 - (株)鹿熊組

 - (3)[千曲川河川 岩井築堤外工事]
 - ・TS出来形
 - ・マシンコントロール・ブルドーザ
 - ・マシンガイダンス・バックホウ
 - (株)北條組

 - (4)[千曲川河川 笠倉築堤護岸工事]
 - ・TS締固め
 - (株)北條組

3. 情報化施工実施上の留意点(トータルステーションによる出来形管理技術の活用例)
長野県内情報化施工関連会社

4. 講評